

新潟市若者支援センター「オール」の基本方針

1 若者支援センター「オール」…社会的・職業的自立を支援する施設

○新潟市若者支援センター「オール」は、若者の社会的・職業的自立に向け、課題を解決し願いを実現するために、行政・地域・市民と協働したり若者同士が支え合う関係を築いたりすることを通して、全て（ALL）の若者が自分に自信を持ち、社会性を身に付け、夢や目標に向かって動き出す（OARを漕ぎ出す）ことを支援する施設です。

2 職員の姿勢…協働体制をつくり、若者の課題を解決し願いを実現する

(1) 相談スタッフ

- 若者を機関・団体につなぎ、若者の課題を解決する支援をする。
- 機関同士をつなぎ、協働で若者の課題を解決する支援をする。

(2) ユースアドバイザー

- 若者を見守り、若者がアイデンティティを確立するまで安心して過ごせるように支援する。
- 相談や事業へつなぎ、課題を解決し願いを実現する支援をする。

(3) 事業スタッフ

- 自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通してキャリア発達^{注1)}を促す支援をする。
- 若者同士や若者と地域をつなぎ、願いを実現する支援をする。

3 ねらい

(1) 相談→支援機関・団体と協働し、若者の課題を解決する支援をする。

- 相談窓口として適切な機関・団体に紹介したり、複合的な支援が必要な場合は複数の機関・団体による協働支援をコーディネートしたりすることを通して、若者の課題を解決する支援をする。
 - ☞リファラー（紹介）機能をもったワンストップの相談窓口
 - ☞新潟市若者支援協議会の開催（全体会議・実務代表者会議・個別支援会議）

(2) 居場所→アイデンティティ（自分を知る）を確立するまで安心して過ごす場所を提供する。

- 新潟市ユースアドバイザーによる若者の見守り活動、相談や事業につなぐ活動を通して、アイデンティティ（自分を知る）^{注2)}を確立するまで安心して過ごす場所を提供する。
 - ☞見守り活動（受付・話し相手、ミニ講座開催・自主企画支援、環境整理）
 - ☞相談内容は相談スタッフにつないだり、事業を紹介し事業スタッフにつないだりする。

(3) 事業→キャリア発達を促し、若者の願いを実現する支援をする。

- 若者の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促し、若者の願いを実現する支援をする。
 - ☞自己理解・自己管理能力、課題対応能力、人間関係形成・社会形成能力、キャリアプランニング能力、保護者支援

4 センターを支えるために

(1) 新潟市ユースアドバイザー運営委員会→市民の力

- 新潟市ユースアドバイザーが、主体的に支援活動を行うために設置する。

(2) 若者支援協議会（全体会議・実務代表者会議・個別支援検討会議）→行政の力

- 59の支援機関・団体と連携し、複合的な課題を解決するために開催する。

(3) 地域と密着したNPO団体等との協働事業→地域の力

- 地域問題の解決や地域の価値を創造していくことを通して社会性を育てるために行う。

(4) スーパーバイザーを設置（医師・臨床心理士）→有識者の力

- 紹介や個別事例検討会議において今後の方針等のスーパーバイズをするために設置する。

注1) キャリア発達とは、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していく過程をいう。

注2) 自我同一性（アイデンティティ）とは、自分が誰なのかを知ること。いろいろな経験を通して、自尊感情（セルフ・エスティーム）をもつこと。